

このたび、訪問看護認定看護師と認知症認定看護師が新しく仲間入りしました。それぞれの役割と活動をご紹介します

訪問看護認定看護師 牛澤 弘恵



訪問看護認定看護師の役割は、医療処置は当然のこと、療養者さんの日常生活援助や、その方の能力を最大限に発揮し生活の質を高められるように支援することです。また、地域包括ケアシステムが推進される中、医療と介護の連携が重要視されています。そこで、医療と介護を繋いでいくという役割も担っていかなくてはなりません。今後、一人でも多くの療養者さんが、在宅でその人らしく暮らしていける様にお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

実践

療養者さんへの安心、安全なサービスが提供や、療養者さんを主体性を尊重したセルフケア能力を高める支援を行います。また、医療と介護の連携の推進を図るように活動します。

指導

研修会を開催することで、在宅療養に対する知識を深めると共に、看護職、他職種との顔の見える化を実現し、連携を強化していきたいと考えます。

相談

在宅療養などについてさまざまな相談に応じます

訪問看護は何をしてくれるの？

訪問看護師がお宅に訪問して、病気や障害に応じて看護を行います。健康状態の悪化防止や回復に向けてお手伝いします。子どもから高齢者、症状や障がいが軽くて重くてもすべての人が受けられます。主治医の指示を受け、病院と同じような医療処置を行います。自宅で最期を迎えたいという希望に沿った看護を行います。

病気があっても、障がいがあっても、医療処置があっても、家で生活ができるという事ですね。

その通りです。たとえ病気や障がいがあっても、在宅で自分らしく生活ができる様に私たち訪問看護師が全力でサポートさせていただきます。在宅療養も夢ではありません。心配事やお困りごとがありましたら是非ともご相談ください。

認知症看護認定看護師 宮川 英司



認知症看護認定看護師の役割は何？
認知症は年齢が上がるほど発症しやすい病気です。人口の高齢化に伴い、認知症者も増加しています。今後、認知症看護認定看護師を活用して頂きたいと思ひ、今回はその役割について紹介します。

認知症に関する教育

認知症に関する研修会を開催し、認知症の正しい理解や、適切な看護の方法などの知識を広めます

認知症の症状は、環境やケアによって変化します。不適切なケアは認知症の症状を悪化させます。反面、認知症を正しく理解し、その人の立場に立って対応することや、これまでの生活を把握して残された力に働きかけることによって認知症の症状を軽減し、よりその人らしい生活を支援することができます。このような知識を広めることが重要であると考えます。病院内だけでなく地域での研修会にも対応します。ご相談ください。

認知症者への看護実践

体の病気で入院した認知症の患者さんに、病気を治すケアと並行して、認知症を悪化させないケアを提供します

「自分の症状を伝えることが難しい」という認知症者の特性をふまえて、認知症者の「サイン」を見逃さずに、その人の立場に立ったケアを提供していきます。また、環境の変化による不安が軽減するように、認知症者が安心できる対応や環境づくりを行います。

認知症に関する相談への対応

認知症に関する様々な相談に対応します

認知症の症状が悪化して困っている場合や、認知症者のための仕組みづくりに専門的な知識が必要な場合など、様々な相談に対応していきたいと思ひています。お気軽にご相談ください。

認知症予防ワンポイントアドバイス

最近、スーパーなどのレジで小銭をピッタリ払おうとせず、お札で支払ってお釣りの小銭をたくさんもらっていませんか？それは、脳の働きが低下しているからかもしれません。

指定された金額を覚えながら、同時に財布に入っているお札や小銭を確認し、瞬時に組み合わせ出す。このような同時作業は、実は脳への良い刺激となります。レジでは小銭を使ってピッタリ払うように心がけましょう。

ニュースレターは年4回の発行を予定しています。認定看護師の院内外での活動を紹介していく予定です。

●認定看護師に関するお問い合わせは

TEL0266-23-8000 庶務課

●Eメール: mail@okaya-hosp.jp

